

Y01a 「天文教育・その他」の論文はどこに投稿すればよいのか?(II)

縣 秀彦(国立天文台)、鷹野重之(九産大工)

2013年春季年会において、年会での「天文教育・その他」セッションでの講演数の推移と講演数全体に占める割合が増えていることを紹介した。それとともに、日本天文学会の論文誌 PASJ には、投稿論文種別に天文教育や天文アウトリーチ研究といったカテゴリーが無いため、すでに発表されている「天文教育・その他」講演の多くが学術論文としては完成していない懸念があること、およびその問題点を指摘した。

今回、「天文教育・その他」で発表された講演が、他の学会誌等に掲載された例および天文教育や広報・アウトリーチに関する過去の学術論文掲載先を調査した。天文教育普及研究会誌「天文教育」の他、日本地学教育学会、日本科学教育学会、日本教育工学会、日本サイエンスコミュニケーション協会等の和文論文誌への論文掲載数や引用率を考慮すると、これらの論文や研究成果が分散されて発表されている現状は、研究の深化において大きな障害となっていることが予想される。このため、本講演では、天文教育やアウトリーチに関する専用の天文教育・普及論文データベース構築の可能性とその効果について論じる。